

Vol.  
354  
AUTUMN  
平成30年(2018年)  
10月1日発行

# ひろしま県民だより

KENMIN DAYORI



平成30年8月29日 安芸区災害ボランティアセンター／矢野サテライト(広島市安芸区矢野)にて撮影

# #がんばろう広島

# 「より元気な広島県」を目指して

本県では、平成30年7月3日から8日にかけて、各地で観測史上初となる記録的な豪雨に襲われ、戦後最大級の被害がもたらされました。この災害の犠牲となられました方々に対しまして、衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災された多くの方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

また、災害発生直後から、救助活動や様々な面で被災者の生活支援に取り組んでいただいている各関係機関の皆様、ボランティア、企業、団体、自治体の皆様に対し、厚く御礼を申し上げます。

県としては、災害発生直後より、人命救助や被災された方の生活支援、二次災害を防ぐための応急復旧を最優先で進め、緊急の応急復旧等に概ねの区切りがついた8月14日には「災害対策本部」から「災害復旧・復興本部」へと体制を移行し、被災者の方々の生活再建、インフラの復旧・復興、住民生活や経済活動などを日常に取り戻す取組を加速させています。

9月11日には、この度の災害に対し単なる復旧に留めず、本県の更なる発展のスタートとすべく、県はもとより、県民の皆様、関係者の方々が一丸となって、集中的に取り組むための基本的な方針となる「平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン」を取りまとめました。

皆様と力を合わせて、あらゆる手立てを講じ、一日でも早い復旧・復興と更なる発展に向けた新たな広島県づくりに全力をあげて取り組み、より元気な広島県を実現して参ります。

広島県知事 湯崎 英彦

# 平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興プラン

広島県は、豪雨災害で被災された方々と県民の皆さんが、一日も早く安心して暮らし、働ける日常を取り戻すために、「復旧・復興プラン」を策定しました。新たな広島県づくりに向けた歩みが始まっています。

**目指す姿**  
この災害を起点とした、  
創造的復興による  
新たな広島県づくり

県では、今回の災害からの復旧・復興を単なる原状回復に終わらせるのではなく、被災前の状態より、さらに力強い軌道へと押し上げる新たなスタートとするため、中長期的な視点に立ち、将来展望をしっかりと描き、更なる発展を目指します。そのため、

- 県民生活と経済活動の日常を早期に取り戻す。
- 単なる復旧・復興ではなく、より力強い軌道へと押し上げる。これらを実現するために、
- 「ピンチをチャンスに変える」視点で取り組む。

という3つを基本方針とし、より元気な広島県の実現を目指します。

### 施策展開の4つの柱



また、目指す姿の実現に向けては、「安心を共に支え合う暮らしの創生」「未来に挑戦する産業基盤の創生」「将来に向けた強靱なインフラの創生」「新たな防災対策を支える人の創生」の4つの柱により、施策を展開していきます。そして、この戦後最大級の災害に立ち向かうためには、新たな視点を持って、県はもとより、県民の皆さん、関係者の方々が、一丸となって取り組むことが重要です。「ピンチをチャンスに。見せちゃれ(見せよう)広島の底力!」を合い言葉に、新たな広島県づくりを進めます。

### 県民一丸となる合い言葉

“ピンチをチャンスに。  
見せちゃれ(見せよう)広島の底力!”

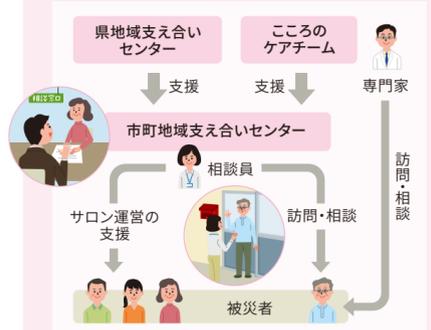
## 安心を共に支え合う暮らしの創生 01

- 被災された方々が一日でも早く、日常の生活を取り戻していただけるよう、一人ひとりに寄り添った包括的な支援を行います。
- 地域住民と行政が一体となって、見守り、共に支え合う、新たな仕組みづくりに取り組みます。

### ポイントとなる事業 被災者の生活支援・再建

災害から1〜2ヵ月後から、心身ともに疲れもたまり生活再建に関わる不安などから、孤立や不眠、うつ、アルコール等への依存などが起きやすくなります。多くの不安を抱えた被災者の皆さんの様々な悩みに寄り添い、話を聞き、サポートできる人・場所の存在がとでも重要です。

### ◎ 地域支え合いセンターとこころのケアチーム



被災者の生活支援をサポートする「広島県地域支え合いセンター」を9月に開設し、10月末までには県内12市町でも市町のセンターがオープンする予定です。社会福祉士や民生委員の経験者等が相談員として常駐し、訪問や窓口での相談対応、専門家への橋渡しをします。また、「こころのケアチーム」を発足し、より専門的な心のケアにもあたります。

## 未来に挑戦する産業基盤の創生 02

- 本県の経済活動を被災前の状態に再生させ、さらに県内企業の新たな発展に向け、集中的な支援を行います。
- 生産活動の早期再開に加え、担い手の収益性向上や生産基盤の最適化等に取り組み、生産性の高い農林水産業の振興へ誘導します。

### ポイントとなる事業 地域経済の再生と新たな発展

この度の災害で被害があった企業の多くが、新しい産業や雇用機会を創出し、基幹産業を支える中小企業です。そこで、県では被災企業それぞれの状況に寄り添った各種支援制度の周知・活用促進を行うことにより、被災企業の速やかな再生を進め、県内産業の復旧・復興を促進します。

### 主な支援策

◎ 中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業(グループ補助金)  
県の認定する中小企業等のグループの復興事業計画に基づき、グループに参加する事業者が施設・設備を復旧する際の費用を国及び県で支援します。

◎ 被災地域販路開拓支援補助金  
小規模事業者が商工会等と一体となって事業再建に取り組む費用を補助します。国の持続化補助金の採択を受けた小規模事業者が対象となります。

◎ 「商店街災害復旧等事業(商店街復旧事業)」による補助

◎ 「県費預託融資制度」による金融支援  
◎ 従業員の雇用の維持、確保に関するアドバイスをを行う、社会保険労務士の無料派遣

## 将来に向けた強靱なインフラの創生 03

- 被災前の構造にこだわることなく、被害の発生の要因を踏まえた工法の選定などにより、必要な強靱化を進めます。
- 防災・減災に資する新たなまちづくりを市町と連携して進め、住民の安全な居住が誘導されるよう取組を進めます。

### ポイントとなる事業 公共土木施設の強靱化

緊急に道路を通行可能にする必要がある箇所への土砂撤去や、破堤により浸水被害が発生した河川の二次災害防止対策として大型土のうの設置などを速やかに完了しました。



重要な道路については年度内の復旧を、河川の決壊により甚大な被害が発生した箇所については次期出水期までの完了を目指します。また、土砂災害により甚大な被害が発生した箇所については大型土のうや土石流センサーの設置等を進めるとともに、重点地区については緊急的な砂防ダム等の整備を2019年末までに完了するよう取り組みます。全体としては、優先順位を踏まえながら段階的に復旧し、3箇年での復旧完了を目指します。

## 新たな防災対策を支える人の創生 04

- 実際の災害時において、自ら判断して避難行動をとるために必要となる条件や要素などについて、防災や行動科学の有識者を交えた検証を行い「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の取組を強化していきます。
- 防災活動をリードする自主防災組織や人材の育成を図ります。

### 検証 大災害頻発時代における防災対策のあり方・平成30年7月豪雨災害の検証

大災害が日本各地で頻発するようになった今、常に想定を超える事態が起こる可能性があり、人命を守ることが難しくなっているという現実を直視しなければなりません。今後の防災対策としては、ハード整備を引き続き着実に進める一方で、土石流や河川氾濫などの災害が発生する前に、「災害から命を守るための行動」を確実にとっていただくために必要な対策を講じていくことが非常に重要になります。このため、今回の豪雨災害における「行政の初動対応」や「住民の避難行動」などを調査・検証し、国全体の防災対策を推進する強い使命を持って、新たな防災対策の構築に取り組みます。

- 1 行政における初動・応急対応の事後検証
- 2 県民の避難行動の検証

他のプランの詳細や取組の最新情報は県ホームページ「がんばろう広島〜平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興に向けた県の取組〜」をご覧ください。

がんばろう広島 検索



### 県民の皆さんへのお願い

# 自分の住む地域の危険を知り大切な命を守る行動をとってください。

今回の豪雨災害は、たった6日間で、県内における7月の過去最大降水量に匹敵する雨量を記録した未曾有の大雨によるもので、様々な防災インフラの設計前提を超えるものでした。県としては、今後も復旧・復興プランに示したようにハード整備を進めていきますが、想像を超える事態は今後も起こり得ます。ハード整備だけでは、自然災害による被害を防ぎきることはできません。命を守るためには、県民の皆さんそれぞれが必要な情報入手し、いざという時は、命を守る行動をとることが重要です。

危険が迫っていることを感じて避難行動をとった県民の方から、体験談をお寄せいただきました。

**仕事** 事業者に道路の冠水や陥没、土石流の被害を見かけ、非常事態だと感じ、帰宅後すぐに避難しました。近所で避難されている方は少なかったので、仲の良い方に声をかけて避難所へ行きました。「家が流されそう」と自宅で怖がっていた小学生の息子が、避難所で友達と過ごすうちに、気持ちが落ち着きました。後日、身近な人にも、自宅を失った方や亡くなった方がおられることを知り、避難の大切さを改めて実感しました。(30代男性)

**自宅** ある地域は、ハザードマップで土石流の危険エリアに入っていたので、道路に泥水が流れ、側溝があふれているのを見て、子どもたちと避難することにしました。夫は仕事だったのですが、帰宅するほうが危ないと思ったので、職場に留まるように伝えました。自宅にいると不安が募るばかりでしたが、避難したことで安心して過ごすことができました。速報などでしっかり情報収集して、早めに行動することが、命を守ることにつながるのだと思います。(40代女性)

**川** からも山からも少し離れているため、避難は考えていませんでした。ご近所もそういう方が多かったようです。夜が近づき心配した娘の様子を見に来てくれた時には、道が川のようになっていました。いつも使う道はとでも歩ける状態ではなかったので、裏道を通り、なんとか経路を探して、安全な公共施設に避難しました。私もギリギリではありましたが、逃げ遅れて大変な思いをされた方も多い地域でしたので、早めに避難することの大切さを感じています。(70代女性)

## 知る!

### ハザードマップ

各市町が公表しているハザードマップとは、土砂災害や洪水、地震、津波などの自然災害によって「今後起こるかもしれない被害」を予測し、地図上で見えるようにしたものです。災害種別ごとの避難場所等も分かるので、いざという時に備えて、地域の現状を確認しておきましょう。



## 察知する!

### 広島県防災情報メール

雨量や川の水位、潮位、土砂災害危険度情報など、携帯電話会社による緊急速報メールでは配信されない情報も発信しています。特に「土砂災害警戒区域等」に指定されている地域や、川・海の近くにお住まいの方、身近に高齢者や体の不自由な方がいる方は、いち早く危険を察知するために、今すぐ登録ください。



## 行動する!

### 避難情報の種類

各市町が発表する避難情報は、各地域の状況を踏まえ、「避難が必要」と判断した際に出されています。情報の内容を正しく理解し、一人ひとりが「発表に準じて行動する」という意識を高め、いざという時には助け合って避難することが、より多くの命を守るにつながります。



### ◎ 避難情報の発令の目安ととるべき行動

避難情報の種類	発令の目安	とるべき行動
避難準備・高齢者等避難開始	避難警告や避難指示(緊急)を発令することが予想される場合。	いつでも避難ができるよう準備をしましょう。避難に時間を要する方、土砂災害警戒区域等にいる方は避難を開始しましょう。
避難警告	災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合。	避難場所へ避難をしましょう。地下空間にいる人は、速やかに安全な場所に避難をしましょう。
避難指示(緊急)	災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合。	ただちにその場から避難をしましょう。外出することで命に危険が及ぶような状況では、自宅内より安全な場所に避難をしましょう。

▶ これらの情報が発令されていなくても、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

## 広島県「みんなで減災」はじめての一步

自然災害から命を守るための様々な情報を、分かりやすく取りまとめたポータルサイトを開設しています。ハザードマップの見方や災害危険箇所の確認、避難場所の検索などできます。

今すぐ確認!

減災 はじめての一步 検索

# 広島県の観光地は元気です!



県内の観光地では、この度の災害による直接的被害が無い、または限定的なところが大半でしたが、7月の主要観光施設の観光客数は前年の63%となり、宿泊キャンセル数は推計で18万人泊にも及びました。県では、こうした風評被害を払拭し、これまで以上に多くの方々に広島を訪れていただくため、「ひろしまブランド復興チーム」を立ち上げ、復興への取組を加速させています。



## ✓ ふっこう周遊割

県内への宿泊と周遊促進を図るため、災害救助法の指定を受けた関係府県等が連携して「観光で西日本を元気に!!ふっこう周遊割」を実施。ぜひご利用ください。※但し、予算額に達した時点で終了します。

期間：平成30年8月31日(金)～11月30日(金)の宿泊まで有効

(8月28日予約分より)

〈お問い合わせ〉

「ふっこう周遊割」広島県事務局 TEL:086-232-6521



広島県 ふっこう割 検索

## ✓ プロスポーツチームと連携したプロモーション

サンフレッチェ広島とコラボレーションした動画を制作し、試合会場やWEB等を通じて、情報発信を行っています。広島での買い物や宿泊も支援に繋がる旨をPRしています。



▲広島県復興支援PR動画「サンフレッチェ広島川辺駿」編／がんばろう広島!

## ✓ WEBサイト「行ける! 広島県」



▲観光地アクセスの状況をまとめた情報サイト「行ける! 広島県」

観光地へのアクセスに関する問い合わせが多く寄せられていることから、正確な情報を発信するため、県職員が実際に各地へ赴き、アクセス状況などをまとめた情報サイトを開設しました。県民の皆さんもぜひ県内の観光地を訪れてください。



行ける 広島県 検索

## 義援金とボランティア

この度の災害により被災された方々を支援するため、今後も義援金やボランティアの力が必要とされています。引き続き、息の長い支援活動にご協力をお願いいたします。

### 義援金

合計 **6,219,053,255円**  
(平成30年9月4日現在)

### 「平成30年7月広島県豪雨災害義援金」のお知らせ

この度の豪雨災害により被害を受けた被災者への援護の一助として、日本赤十字社広島県支部、広島県共同募金会、NHK広島放送局及びNHK厚生文化事業団と共同し、義援金を受け付けています。既に、県内外の各方面から多くの方々にご協力いただき、9月4日現在の募金金額の合計は約62億円となっています。引き続き皆様のご協力をお願いいたします。

※ご協力いただいた義援金は、各市町を通じ被災者へ配分されます。

募金箱を県庁や県地方機関に設置しています。その他、募金方法については県ホームページをご覧ください。



### ボランティア

延べ人数 **93,425人**  
(平成30年8月31日現在)

現在も、社会福祉協議会と連携してボランティアセンターを設置している市町があります。募集状況や事前の準備、被災地へのアクセスについては県ホームページ「生活支援情報」の「ボランティア情報」からご確認ください。



## 県ホームページで支援情報を発信しています!

### 平成30年7月豪雨 被災者の皆様、県民の皆様への生活支援情報

被災者の方を対象とした支援制度や相談先などをまとめています。制度の拡充や追加があった場合は、随時更新し、お知らせします。

- ▶ 県税の減免や納期限の延長、納税の猶予
- ▶ 免許証や各種手数料の免除
- ▶ 中小企業向け融資・支援制度
- ▶ 農業・林業・漁業に携わる方々の経営再建のための支援など



▶ ボランティア情報などもこちらからご確認ください。

広島県 生活支援情報 検索



### 広島県テレビ広報番組

## ひろしま 県民テレビ

ON AIR!



小嶋沙耶香アナウンサーが県内各地の現場からレポートし、県の情報を分かりやすくご紹介!

金曜よる7時54分～放送中!(月2回)

再放送 / 日曜 午前11時55分～(月2回)  
金曜 あさ 5時20分～(月2回)

5ch! 広島ホームテレビ

### 県政情報ポータルサイト

## ひろしま 県民倉庫

県政情報をもっと気軽に!  
もっと楽しく!  
新サイトをオープン!



テレビや紙面には掲載しきれない、県政情報を随時アップしていきます!

ひろしま県民倉庫 検索



人口 2,821,283人(前年同月より10,024人減) 男 1,368,249人 女 1,453,034人

※平成30年(2018年)8月1日現在 出典:広島県人口移動統計調査

### ひろしま未来チャレンジビジョン

「ひろしま未来チャレンジビジョン」の趣旨やポイントなどを掲載しています。

ひろしま未来チャレンジビジョン 検索



### 広報課特設WEBページ

こちら 広報課 様々なコンテンツを  
ご覧いただけます。

広島県 こちら広報課 検索

※これらの二次元バーコードはスマートフォンのみ対応しています。

広島県ではSNSを利用して、皆さんの暮らしに役立つ情報を発信しています。

### 広島県公式LINE@



LINE ID  
@hiroshima\_pref

### 広島県公式Twitter



http://twitter.com/hiroshima\_pref

### 広島県公式Facebook



http://www.facebook.com/pref.hiroshima

### 広島県ホームページ



https://www.pref.hiroshima.lg.jp/

### 県民だよりに関するお問い合わせは

広島県総務局広報課

〒730-8511 広島市中区基町10-52 TEL 082(513)2378 FAX 082(228)4429  
Eメール soukouhou@pref.hiroshima.lg.jp

今回の「県民だより」は平成31年1月3日(木)発行です。「県民だより」は、県の施設、市町窓口、県内の主なコンビニエンスストア・スーパーなどでも配布しています。また、点字版、音声版も発行していますので、ご希望の方は広島県総務局広報課へご連絡ください。